

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	さくらの理念として「心豊かにこの場所をみんなの笑顔が秘伝のしあわせ」を掲げたい	○ 地域の方との交流をもっと深めたい。利用者一人一人が満足して生活していけるようにしたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を日々心にとめて、毎日の仕事に心かかっている。	○ 日々の時間と、お休みの理念を話し合うようにしたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	独自の理念を家族や地域の方に、あらためて話し込みたい。	○ 家族の方には、さくら便りの章をせたり、地域の方には、権違会議で話し込みたい
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の方とのあひまわり。気軽にしゃべり、相談もしたい。	○ もう少し幅広く近所の方とも接していきたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	納涼祭などの行事は、声をかけて参加して頂きたい。	○ 小・中学校の運動会など(興味がある利用者)をぜひ参加してみたいと思いたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者のために 話し合い、支援したい	○	近隣などの位の高齢者が いるか把握したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の実施を理解し、その後 改善に取り組んでいる。	○	外部評価の結果後、ミー ティングで改善のポイントを 話し合いをする。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2-3か月の 一回開催している。近況報告 をした。意見交換を繰り返している。	○	2ヶ月1回の開催の継続 外部から見た(構成員の)意見と 聞き改善に取り組む
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	推進会議以外では、市町村に 訪ねる機会がない。	○	市町村に訪ねる。近況報告の 情報を知りたい。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	入居者の家族からの要望や入居者本 人からの要望は、ないか。これから 必要がある場合は、支援してい たい	○	資料をもとにミーティングに? 勉強会を行った。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加した方がミーティング 時に報告している。又職員は、見 逃さぬよう虐待について認識し 注意を払っている	○	身体的、心理的虐待は、充分 気を付けるよう心掛けている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	パンフレット、料金表などお見せ もつています。	入所時は契約書、重要事項説明書と家族に説明し、納得した上で入所している。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者から何でも話せるように コミュニケーションを取っています。	苦情、不満などは聞いている。 ミーティング時話し合っています。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	定期的に便りなどを連絡 取っています。	特に暮らしぶりの変化、健康状態の変化には、連絡を欠かさず 行っています。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	訪問時などに家族と話し合える 機会をとっています。	無記名でのアンケートで意見を 聞くかたちです。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング時、意見交換をし 問題点は、その都度話し合える ようにしています。	月に一度のミーティングは、実行 しています。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	ローテーションを組む無理のない 勤務を調整しています。	夜間は、2名で交代する 不安点もあります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	大は残り利用者が不安だからか いろいろ考え移動している。 申し送りシートで利用している。	○	担当の職員以外にも利用者 の声をかき コミュニティを取 り組んでいる。
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	講習会などに参加している	○	講習会を聞いたの習ったことを サイトとか時又は勉強会を 話し合う。(伝え子)
20 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	関連のグループホールの交流 をしている。 他法人を見学させている等 で交流がもたら。	○	勉強会も他施設の見 ることではいると刺激ももたら。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	サイトとか個別面談で管理者 や他の職員により話を聞いて もらうストレスを軽減している。	○	食事会やその場所と距離が 近くで気分転換も図れる。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員一人一人の気持ちと理解 し働きやすい職場にできるように 努めている。	○	研修などに参加し勉強し るという

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前に本んと話し合う機会をもち、不安がないよう利用者へ紹介し、よく話を聞いてもらうようにしている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所希望がある時に家族と何度か話し合う機会をもち、その時の希望や心配事を聞くようにしている。	○ 入所前、本んと一緒に施設見学をしてもらっている。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の必要とわかれ、意向を見極め、充分な話し合いを努めている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	生活習慣などが大きく違うので、家族の情報を聞き入れ、本人へ接する。	入所希望がある場合、なるべく本んと家族を見学し、よく話し合う。入所希望もあれば、体験入所も行う。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	昔の話しを聞いて、レクリエーション時は、好きな歌を聴かせたりしている。	コミュニケーションをとり、本人の気持ちに寄り添い、笑顔で接している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時、本人と一緒に夕食して、お風呂も施設で一緒に利用者と一緒に参加していたらいいな。		利用者と一緒にお風呂をもうちょっと広く考えてほしい。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族への今の利用者の状態は、詳しく連絡を取りたいし、良い関係が保たれるようにしたい。		家族の方と面会に来た時などは、話を聞きたい。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者への家族や友人など、面会に来たときなどは、お風呂や飲み物などを提供したい。		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	声かけ、散歩や、レクリエーションなど、仲良く会話など出来るように職員も入る。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後、手紙や電話など、家族も、気軽に遊びに来るようお話ししたい。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプランを立てる際は、なるべく本人の意向を聞くようにしている。	○	お話を聞いたり、本人が負担にならない程度に選んでいる。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族から生活歴や趣味など、本人が今まで暮らした経過を聞くようにしている。	○	職員全員にわかるように伝え内容を把握する。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	いつもと違っているか、顔色(顔つき)食事の量、排便などがどうなっているかを見ようとしている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアマネジャー、職員などで話し合いをしている。本人にとって負担にならないようにする。	○	日々変化してきているので、メモなどで書き記録として記入している。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	対応できない変化が生じた場合は、本人からカンパレックスを呼び、ケアプランのニーズを見直している。	○	日々変化するので、メモなどでその人の変化を見ることがないようにしている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録など一日の出来事を記入している。夜間やわかりやすく赤ペンで記入している。	○	メモなどで気づいたことを記入しておく
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の「真心」を見のかさかないように。家族のことも連絡を取りようとしている。要望も聞くようにしている。		利用者の心でなく家族の方でも生活状況も承知して支援を考えていきたい
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの定期的な訪問、消防署立ち合いのもと、消防訓練と協力しながら支援している。		ボランティア参加の催し物には市役所、民生委員の方の参加もあわせている。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	認定調査時、又は推進会議の時に他のケアマネジャーとの話し合い、機会があればサービスも利用まで支援している。	○	本人の意向、必要性がある場合は他のサービスも支援していきたい
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	支援所がペーパープレット(きん)の物を置いて頂き、それによる包括支援センターの方と交流を促し利用者の紹介して頂いた。	○	がん-アホ-も地域型型に、そのようにして頂くようにしたい



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体が美野里病院での医療の こちらで支援している。		協力医療機関以外での診察 は、家族さんが願っているか 無理な場合は、こちらで対応している
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	担当医と連絡を取りながら、 症状の変化、治療を相談し ている。	○	認知症の講習会や勉強会 に参加している。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	施設に看護職員が在籍し ている為、利用者の健康状態は、 すぐ相談することができず。		母体が病院の為、何かあれば すぐに電話して対応を聞くこ とが出来ず
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	母体が美野里病院での連絡 は、しっかりと取っている。体調が 良くなるか、体力低下にならない 早期に施設の方へ戻すようしている		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した時は速やかに家 族や医師と連絡、話し合いを行い 本人の希望、家族の意向で決め ている。	○	入所時に終末期さとのように おこなったのか本人、家族の 意向を聞き取ったか
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族に相談し、出来る限りのこ は、医師と、連携の上で支援を している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	今子一人かの方か関連の老健に 移ったこともあり、その時は家族や 本と話し合いをし移りました。 老健の職員の方にも情報交換を しました。	○	今子へ家族、本人の希望に より移り住む場所など変らばい ふうに努めた。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	利用者の方のプライドがあまりで 損ねないようにはしてはいる。 無理しいはさせない	○	一人一人違う生活歴や 認知症を持っているので、よく理解 し接するようにはしている
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている	本人が何をしてほしいのか、どう思っ ていのかを聞き出しできる限りの 支援をしています。	○	利用者の方か何をやりたいたいか、どう したいのか、かわからない時は、こちら でシミュレーションなどを通じてわか るようにはしています
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	できる限り、一人ひとりの希望に 合った生活ができるように職員 は、心がけています。	○	決められた時間の中での生活な ので、職員のペースになりつつある けれど、休息に利用者の笑顔と思 い出す事を心がけています
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれがで けるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	訪内を来歴さんに来てくは 2か月に一回		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	美野里病院からメニューが決まるが、たかお楽しみメニューやおやつなど希望を言いつけ用意がいき、利用者の方も嬉しそうです	○ 一緒に食事作りが難しい テーブル拭きなど簡単なこと など、手伝ってもらっています。(おペア返)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつ、飲み物などの支援してもらっている。お酒、タバコは止められている。	○ のどの乾いた時など、麦茶などを提供している。他にコーヒーや紅茶なども出しており、ゆん子とよいと思う
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるように支援している	大人排泄パターンを理解し、それに合わせてトイレで補助するつもりです。	○ 19歳の時から紙パンツとパッドを使用している。万が一失敗せずトイレで排泄できるように心がけている
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員の手伝いをしてもらって入浴している。利用者の入浴の時間は配慮している	○ 好きな日に入浴出来るようにしたい
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	散歩や適度の体操や運動をしてもらい、昼食後は休息をしてくれている	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員の手伝いをしてもらって必要性を感じている。園外へ皆集ると歌をうたったり気晴らしを計っている	○ カラオケの機械が入ったの？利用者の方の気分が良い時などに使っている


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	認知度によって管理が難しい利用者もいるが、自分で管理できているおこがいていて持っている。家族が直接頼られている。		本人の希望で買い物をお願いする場合は代行して買い物に行く
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や日光浴などで園外にも出るが、出かけるまでいはいかない家族と一緒に出かける方はいらる。	○	遠出や買い物などは本人希望の方には連れ出してあげようと考えている
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	なかなか実行に移せなかった近頃の散歩に力をつけている。家族のサポートで近頃の散歩に連れ出して外へ、一緒に散歩や散歩と連れ出してあげようかと考えている。	○	家族の外出を希望する場合は近頃の観光名所などを教えている。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	住所の確認、電話番号の確認などを手伝っている。		自由に電話はできるように施設内に設置してあり。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問時間、面会時間の制限もなく居室で一緒にお茶を飲むなど対応している。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の禁止は運営者も職員も理解しているが、転倒防止のためには安全ベルトを使用している。		本人の理解、家族の理解承諾の上で安全ベルトは使用している。同意書請

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	地震や火事などが起きた時にお子を出し入れする際やついでに部屋を閉める際に鍵をかけるのを避けるようにしています。	○	夜間＝地震や火事などが起きた時に鍵をかけることを避けるため、開けています (ロックを解除しています)
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者一人一人の状態を把握し、けがの防止や見守りに努めています。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	本人管理を促し、心配がなければ、この場で物品を預り、家後と本人に了解して頂き保管する。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者の特徴などを把握し、転倒や食事中のこぼれ防止など見守りに努め、気をくばっています。(歩行車など)		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当のマニュアルは目録に所収があるが、定期的講習や訓練はしていない。	○	医療機関に訓練をしていただき、おねがいをさせていただきます。 消防署などで講習、そうするおねがいをさせていただきます。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎年一度消防署の方に来て頂き避難訓練をしています。	○	近所の方にも避難訓練に参加して頂き協力をお願いいたします。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている	家族の方が面会に来た時 現在の生活状態や病状とい う話している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気付いた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	常に見守り、声かけにて体調の変化 には速やかな対応を心がけてい る。		変化に気づいた時は、ハイタ ルチエフを処方し、病院に 連絡し、対応している。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量について理解し ており、服薬の支援と症状の変化の確認に 努めている	個人ファイルに薬の名前や内容を 書き出ししている。変更があった時は 随時書き変えている(明付)		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解 し、予防と対応のための飲食物の工夫や身 体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	適度の運動や体操、散歩 など心掛けている。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた 支援をしている。	食後に綿棒にて口腔ケアをし ている。入れ歯のケアも洗浄液を つけて、入れ歯の入れかたを指導し ている。一月に一回歯科診察に行っている。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、食事の量や水分 補給の量などを記入している。	○	一人一人の好みを把握し 摂取量、現段階にしている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	うがい、手洗いや消毒薬の殺菌 予防をしている。(帰前や外出後も) インフルエンザの予防接種毎年行っている		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材=展達の区(森蔵度)の野菜料理 用意を前日に取りに行くと決まっています。 用具=毎日終了後消毒している。 調理中は手袋を使用している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1) 居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前や外からでも花や植木など 飾っておくことで、大の散歩など 近隣の近所、あつたをかめす。		玄関前には、ハンチを置き、 ながら会話ができるようにしている。
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアなど、季節の花などを加えて おこなっている。毎日の日めくりカレンダー を用意している。		玄関前には四季か感じ取 れるように、その都度飾りつけを している
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った同士棟は違うが 行き来し、ゆくりとお話をしていく (個室やフロアなど) 広く行っている		長い廊下には、いくつかのソファ が置いてあり、他の棟の方とも お話しがしやすいようにしている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	居室は自由な感じの物や 好みを合わせて住みやすいよう にしている。		入居時の本人家族の話し 自由を持ち込んでの事を話 している (床、写真、位牌絵など)
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	外気と中の温度差など、お利差の たにおい温度計など壁につけて 特に雨の日、曇りの日など、温度差 をより配慮している		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	段差がなく、手すりも左右につ いている。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	自分の居室がわかるよう自分で 花など飾っている 玄関前には、手前のシールを貼 っている。		
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	玄関前には、花を置き、歌やレ クレーションができて楽しんで いる。草花や花を植えており、季節 感を感じて楽しんでいたりする。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ほぼ全ての利用者の</li> <li>②利用者の2/3くらいの</li> <li>③利用者の1/3くらいの</li> <li>④ほとんど掴んでいない</li> </ul>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>①毎日ある</li> <li>②数日に1回程度ある</li> <li>③たまにある</li> <li>④ほとんどない</li> </ul>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ほぼ全ての利用者が</li> <li>②利用者の2/3くらいが</li> <li>③利用者の1/3くらいが</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ほぼ全ての利用者が</li> <li>②利用者の2/3くらいが</li> <li>③利用者の1/3くらいが</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ほぼ全ての利用者が</li> <li>②利用者の2/3くらいが</li> <li>③利用者の1/3くらいが</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ほぼ全ての利用者が</li> <li>②利用者の2/3くらいが</li> <li>③利用者の1/3くらいが</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ほぼ全ての利用者が</li> <li>②利用者の2/3くらいが</li> <li>③利用者の1/3くらいが</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ほぼ全ての家族と</li> <li>②家族の2/3くらいと</li> <li>③家族の1/3くらいと</li> <li>④ほとんどできていない</li> </ul>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ほぼ毎日のように</li> <li>②数日に1回程度</li> <li>③たまに</li> <li>④ほとんどない</li> </ul>

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・静かで緑豊かな環境や自然がある
- ・野菜、魚、肉が新鮮で豊富な食事を提供している
- ・利用者への心くばり 見守りなどで職員との関係は密である。